

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画
令和元年度事業 点検・評価調書

4-I-7

4-I-7

章	第4章 世界遺産登録に向けた来訪者の受入体制整備	取組項目	案内標識の設置
節	I. アクセスルートの整備・来訪者の誘導等		
事業(施策)名	7 遺跡案内表示の整備、充実	事業主体	佐渡市世界遺産推進課
事業実施期間	H28～R4	関連団体	佐渡市観光振興課、佐渡市交通政策課
事業概要	<p>【事業目的】 ○来訪者の円滑な移動に向けて、主に徒歩による遺跡への案内表示の充実を図る。</p> <p>【事業内容】 ○関係機関が連携して、遺跡案内版など案内表示の整備、充実を図る。</p>		
R元事業計画と実績	<p>【元年度計画】 ●史跡及び相川地区文化的景観の整備基本計画策定作業の中で、必要とされる個所へのサイン設置箇所について検討する。</p> <p>【元年度実績】 ●史跡整備基本計画において、サイン設置に関する計画を記載した。 (なお、相川地区文化的景観のサイン設置については史跡と整備計画範囲が重複するため史跡の計画に準じることとした。)</p>		
課題・今後の取組	<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■構成資産が広範囲に分布し、設置予定箇所数も多いことから、計画的にサインを設置する必要がある。 ■事業終期の見直しが必要である。 <p>【今後の取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■史跡整備基本計画及び平成29年度に策定したサイン計画(サインデザイン含む)に基づき、令和6年度までに解説・歩行者誘導・注意喚起等の120基のサインを新たに設置する予定。(4-II-1・解説パネル等の整備と連動、4-II-3・多様な説明媒体の整備と連動) ■計画的なサイン設置に向けて予算確保に務める。 		
事業評価	<p>【事業の達成度】 [a b · c]</p> <p>【事業実施の効果】 [a · b · c]</p> <p>【総合評価】 [A · B · C]</p> <p style="text-align: center;">◇計画どおり、目標を達成できたことからBとした。</p>		

a:進んでいる。高い。
b:概ね順調。概ね適切。
c:遅れている。低い。

A:計画を上回る進捗で、十分な成果が得られている。
B:概ね計画どおり進んでおり、一定の成果が得られている。
C:計画から遅れが見られ、十分な成果が得られていない。